

2020年3月期 第1四半期決算の発表について

昭和産業株式会社(社長:新妻一彦)の2020年3月期第1四半期連結決算は、売上高 64,343 百万円、経常利益 3,300 百万円となりました。2020年3月期連結業績予想については、売上高 2,610 億円、経常利益 100 億円を見込んでおります。

【2020年3月期第1四半期連結決算】

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、米中貿易摩擦の影響等により、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社90周年を迎える2025年度のありたい姿(長期ビジョン)「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向けた1st Stage「中期経営計画17-19」も最終年度を迎え、5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各種施策を着実に推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は64,343百万円と前年同期に比べ176百万円(0.3%)の減収となりました。営業利益は2,730百万円と前年同期に比べ34百万円(1.3%)の増益、経常利益は3,300百万円と前年同期に比べ70百万円(2.2%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,644百万円と前年同期に比べ429百万円(19.4%)の増益となりました。

【2020年3月期連結業績予想】

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2019年5月9日に公表した2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の連結業績予想につきまして変更はありません。

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松
TEL:03-3257-2042